

授業科目名	ジェンダー論		授業形態	講義		授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科学目)		
担当教員名	前田 博子					補助担当者名				
単位数	1 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数		180		
授業の概要	各自のジェンダー意識を自覚する機会を提供する．国際社会と国内におけるジェンダーに関する解釈とその取り組みについて知識を提供する．社会のさまざまな場面におけるジェンダーバイアスに敏感になること，人権問題としてのジェンダー課題の理解力が向上することが期待される．									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	指導者基礎力、一般教養・倫理 ()	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	ジェンダーに関する課題と取り組みについて知識を得る。 ジェンダー課題の背景についての理解を高める。	○		○		○		50
		■情意的領域	授業に積極的に参加し、授業における課題に積極的に取り組む。	○		○				50
□技能的領域										
成績評価の基準	学期末試験の成績、毎回の授業時に課されるレポートへの取り組みを総合的に評価する。									
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：適宜プリントを配付する 参考書：富岡恵美子・吉岡睦子編・「現代日本の女性と人権」（明石書店）、 金城清子「法女性学のすすめ」（有斐閣）									
履修条件・ 関連科目				備考(教員メッ セージ含む)						
オフィス・アワー	6 0 6 研究室（随時）									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	前田 博子	本時の進め方 性別に対する思い込み ジェンダーを学ぶ意義				シラバスによる準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
2	〃	ジェンダーとは セクシュアリティの構成要素				課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
3	〃	人権と女性の権利				課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
4	〃	国際社会の動き 女子差別撤廃条約				課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
5	〃	職場における男女差別 男女雇用機会均等法				課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
6	〃	社会と家庭生活における共同・協力 男女共同参画社会基本法				課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
7	〃	ハラスメントについて				課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
8	〃	スポーツと性 全体のまとめ 期末試験				課題による準備（1時間）				